MA1402-B

OCEANUS

取扱説明書

5347(OC)P＊JA

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願い申し上げます。
また、本機をご使用になる前には、安全に正しくお使いいただくための注意事項「安全上のご注意」を必ずお読みください。
なお、この説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。

重要

- ご使用いただく前に、まずは時計の充電量をご確認ください。

参照　充電量の確認…P.24

この時計の特長

この時計は、次の機能を備えています。

◆光で発電して動きます

太陽や照明の光によって発電します。電気エネルギーを充電しながら時計は動作します。

→ P.28

◆正確な時刻がわかります

時刻情報を乗せた電波を受信し、正確な時刻を表示します。

→ P.34

◆ワールドタイムがわかります

世界29都市の時刻を表示できます。
サマータイムは自動で切り替わるので、設定不要です。

→ P.56

◆ストップウオッチとして使えます

経過時間を1/20（0.05）秒単位で60分まで計測できます。

→ P.70

安全上のご注意

絵表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

絵表示の例

△ 記号は「気をつけるべきこと」(注意)を意味しています
(左の例は感電注意)。

⦸ 記号は「してはいけないこと」(禁止)を意味しています
(左の例は分解禁止)。

● 記号は「しなければならないこと」(強制)を意味しています(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)。

⚠**危険**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠**警告**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠**注意**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⚠ 警告

スキューバダイビングには使用しないでください

本機をスキューバダイビングに使用しないでください。

- 本機はダイバーズウオッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。

電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠ 注意

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからさびが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。
ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとさび易くなります。

⚠ 注意

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

① 金属・皮革に対するアレルギー
② 時計の本体およびバンドの汚れ・さび・汗等
③ 体調不良等

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
- 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
- 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

⚠ 注意

分解しないでください

本機を分解しないでください。けがをしたり、本機が故障する原因となることがあります。

⚠ 注意

ご使用にあたって

時計表示の確認は、思わぬ転倒やけがの予防のため、十分に安全が確認された場所で行ってください。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車等の運転中は事故の原因になることがありますので、十分にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にも十分にご注意ください。

時計着脱の際に、バンドの中留で爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

思わぬけがやアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は時計をはずすなど十分にご注意ください。

⚠ 注意

ご使用にあたって

幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のけがやアレルギーによるかぶれを防ぐため、時計をはずすなど十分にご注意ください。

時計本体(裏ぶたを含む)やバンドに製品保護シールが付いている場合は、ご使用になる前に必ずはがしてください。シールをはがさずにご使用になると、「時計本体やバンド」と「シール」との隙間に汚れが付着し、さびやかぶれの原因となることがあります。

目次

本書について

本文中の記号について

注意：誤った使用方法によるけがや故障を防ぐための情報を記載しています。

重要：正しく使用するために必要な情報を記載しています。

参考：各機能や操作の説明に関する補足情報を記載しています。

：詳細の説明や関連する項目などの参照ページを案内しています。

各部の名称

この時計の操作は、Ⓐ、Ⓑボタンおよびりゅうずを使用します。また、各部の名称は次の通りです。

1 秒針
2 分針
3 時針
4 上窓の長針
5 上窓の短針
6 下窓の長針
7 下窓の短針
8 モード針
9 日付

参考

- この取扱説明書では針や表示を説明するために、図に記載した番号を使用しています。
- この取扱説明書に記載しているイラストは、視認性を考慮して実際のものとは異なる描写をしているものがあります。ご了承ください。

文字板の表示について

文字板の略語や文字は、以下の内容を表します。

1. **.1** / **.2** / **.3** / **.4** / **.6** / **.7** / **.8** / **.9** :
   ストップウオッチの1/20(0.05)秒針で使用
2. **TM** / **WT** / **ST** : モード

モードの種類と切り替え…P.48

3. **Y-N**：受信結果、自動受信の設定

受信結果を確認する…P.43

自動受信のON/OFF設定…P.45

4. **W-R**：電波の受信状態

手動で電波を受信する…P.41

5. **AT(AUTO)** / **STD** / **DST**：サマータイムの設定

サマータイムの設定…P.59

6. **Su** / **Mo** / **Tu** / **We** / **Th** / **Fr** / **Sa**：曜日

7. **A** / **P**：午前、午後

操作概略…P.52

ご使用になる前に

りゅうずの操作

りゅうずの操作について、イラストでは以下のように表現しています。

りゅうずは、2段階に引けます（無理に引っ張らないでください）。

1段引き	2段引き	回す	戻す

りゅうずを回して針を動かすとき、以下の操作で針の動きを早送り/早戻しすることができます。
早送り/早戻しの設定は2段階あり、早送り2/早戻し2の状態で針がもっとも速く動きます。

早送り1/早戻し1		りゅうずを引いた状態で、時計方向(早送り)または、時計方向と逆(早戻し)にすばやく3度回す
早送り2/早戻し2		早送り1/早戻し1のときに、りゅうずをすばやく3度回す
解除		りゅうずを逆方向に回す、またはボタンを押す

重要

- 防水性能の低下や衝撃を受けた際の損傷を防ぐため、りゅうずを引いたままの状態で使用しないでください。
- りゅうずを引いた状態で2分以上(針や日付のずれ補正の場合は約30分間)何も操作をしないと、操作が効かなくなります。その場合は、りゅうずをいったん戻し、操作を最初からやり直してください。

参考

- りゅうずを戻すとき、強く押し過ぎないようにご注意ください。
- 早送り/早戻しは、時刻合わせおよび針や日付のずれ補正で使うことができます。

針と日付の動き方について

- この時計は、8モード針と9日付が連動しています。9日付を合わせるときは、8モード針を繰り返し回して合わせます。
- 9日付は午前0時になると約1分半から3分かけて少しずつ変わります。9日付が変わるときは、8モード針が繰り返し回転します。
- りゅうずを引いた状態では日付が正しく表示されない場合があります。
- 時刻モードとストップウオッチモードでは、ホーム都市の日付を表示します。ワールドタイムモードでは、ワールドタイム都市の日付を表示します。

時刻モードとワールドタイムモードの関係…P.50

充電量の確認

❶ りゅうずを1段引きます。

❷ Ⓑボタンを2秒以上押し続け、時刻モードに切り替えます。

❸ りゅうずを戻します。

❹ チャートに従って、充電量を確認してください。

秒針が1秒ごとに動いている。

いいえ →

秒針が2秒ごとに動いている、または停止している。

はい →

充電量が不足しています。
時計を光に当て、充電してください。

充電するには…P.28

はい →

充電されています。

次ページの「時刻と日付の確認」に進んでください。

時刻と日付の確認

❶ りゅうずを1段引きます。

❷ Ⓑボタンを2秒以上押し続け、時刻モードに切り替えます。

Ⓑ

❸ りゅうずを戻します。

❹ チャートに従って、時刻と日付の表示を確認してください。

重要

- この時計を日本以外の国で使用する場合は、都市の設定が必要です。設定できる都市は、都市コード一覧表で確認できます。

都市コード一覧表…P.108

- 都市を正しく設定しないと、以下の原因となります。
  - 電波を受信しない
  - 電波を受信しても、正しい時刻を表示しない

時刻と日付が合っている。

はい

そのままお使いいただけます。

いいえ

この時計を使用する都市を設定してください。

都市の設定…P.56

参考

工場出荷時の初期設定は、以下の通りです。

- 都市:東京(TYO/TOKYO)
- サマータイム設定:AUTO

時刻と日付を合わせてください。

- 電波を受信できる場所でご使用の場合

  電波を受信するには…P.40
- 電波を受信できない場所でご使用の場合

  時刻と日付の調節…P.62

光で充電（ソーラー充電）

この時計は、ソーラーパネルで発電した電気をバッテリー（二次電池）に充電しながら動作します。ソーラーパネルは文字板と一体になっており、文字板に光が当たっているときは常に発電し充電しています。ご使用の際は、文字板（ソーラーパネル）に光を当てるように心がけてください。

充電するには

時計を腕から外しているときは、光が当たる明るい場所に置いてください。1ヵ月に1回、半日ほど日光に当てて充電すると、より安定した状態で使用できます。

腕につけているときは、文字板(ソーラーパネル)に衣類の袖がかからないように心がけてください。文字板(ソーラーパネル)が一部でも隠れていると発電効率が低下します。

注意

- 充電の際、光源の条件や環境によっては時計本体が非常に高温になることがあります。火傷をしないように注意してください。また、以下のような高温下での充電は避けてください。
  - 炎天下に駐車している車のダッシュボードの上
  - 白熱灯などの発熱体に近い所
  - 直射日光が長時間当たり、高温になる所

充電不足や充電切れ

バッテリー（二次電池）の充電量は針の動きで確認します。充電不足になると、使用できる機能が制限されます。充電不足になったときは、文字板（ソーラーパネル）に光を当てて充電してください。

充電不足	充電切れ
1	
1秒針が2秒ごとに動きます（バッテリー充電警告機能）	すべての針が12時位置で停止します

充電切れのときに、しばらく光を当て続けると、1秒針が反時計回りに動き57秒の位置で停止します。これは、充電を開始したことを示します。充電時間については、次をご覧ください。

充電にかかる時間

充電の目安として、下表をご活用ください。

◆1 日、使用するために必要な充電時間

環境(照度)	充電時間
晴れた日の屋外など(50,000ﾙｸｽ)	8分
晴れた日の窓際など(10,000ﾙｸｽ)	30分
曇りの日の窓際など(5,000ﾙｸｽ)	48分
蛍光灯下の室内など(500ﾙｸｽ)	8時間

◆充電量の回復に必要な時間

環境(照度)	充電切れから時計が動き出すまで	時計が動き出してから満充電まで
晴れた日の屋外など(50,000ﾙｸｽ)	2時間	18時間
晴れた日の窓際など(10,000ﾙｸｽ)	6時間	66時間
曇りの日の窓際など(5,000ﾙｸｽ)	8時間	107時間
蛍光灯下の室内など(500ﾙｸｽ)	94時間	―

参考

- 実際の充電時間は環境によって異なります。

節電(パワーセービング機能)

パワーセービング機能とは、時計を暗い場所に置いておくと自動的に節電状態になる仕組みです。
節電状態には、秒針スリープと機能スリープの2段階があります。以下の条件によって切り替わります。

節電状態	スリープまでの所要時間	針の機能の状態
秒針スリープ	暗い場所に置いてから約1時間	1秒針のみその場で停止します。
機能スリープ	秒針スリープのまま約1週間	• すべての針が12時位置で停止します。 • 日付表示のみ通常通り作動します。

参考

- 節電状態は、以下の方法で解除します。
  - ボタンまたはりゅうずを操作する
  - 時計を明るい場所に置く

- 午前6時から午後9時59分の間は節電状態になりません。午前6時の時点で、すでに節電状態の場合は節電状態を維持します。
- 時計を装着している場合でも、ソーラーパネルが袖などに隠れていると節電状態になることがあります。
- ストップウオッチモードのとき、または、時刻モードやワールドタイムモードでストップウオッチ計測中のときは節電状態になりません。

自動的に時計を合わせる（電波時計）

この時計は、時刻情報を乗せた標準電波（以降、電波）を受信することで、正確な時刻と日付を表示します。

重要

- 電波を受信するためには、受信機能に対応している都市を設定しておく必要があります。

  都市の設定…P.56

- 電波は時刻モードとワールドタイムモードで受信できます。電波の受信操作は、時刻モードを前提にして説明します。時刻モードをワールドタイムモードに切り替えても同じ操作手順で電波を受信できます。
- 時刻モードではホーム都市、ワールドタイムモードではワールドタイム都市の設定に沿って電波を受信します。

  都市の設定…P.56

  サマータイムの設定…P.59

参考

- 日本で使用する場合は、ご購入時の初期設定から変更する必要はありません。ご購入時の時刻モードの初期設定は以下の通りです。
  - 都市：東京（TOKYO/TYO）
  - サマータイム設定：AT（AUTO）

受信機能に対応している都市

都市	受信する電波
TOKYO(TYO)	日本の標準電波(JJY)
HONG KONG(HKG)	中国の標準電波(BPC)
NEW YORK(NYC)/ CHICAGO(CHI)/ DENVER(DEN)/ LOS ANGELES(LAX)/ ANCHORAGE(ANC)/ HONOLULU(HNL)	アメリカの標準電波 (WWVB)
LONDON(LON)/ PARIS(PAR)/ATHENS(ATH)	イギリスの標準電波(MSF) ドイツの標準電波(DCF77)

重要

- 電波を受信できない地域や都市で使用するときは、手動で時刻を設定してください。

都市の設定…P.56

時刻と日付の調節…P.62

UTC（協定世界時）とタイムゾーン…P.106

電波の受信範囲と条件

＜日本（JJY）＞

1000km
500km
はがね山
（60kHz）
500km
おおたかどや山
（40kHz）
1000km

＜アメリカ（WWVB）＞

アンカレジ
1000km
ホノルル
3000km
フォートコリンズ

＜中国（BPC）＞

1500km
長春
500km
北京
上海
成都
香港
商丘

＜イギリス（MSF）/ドイツ（DCF77）＞

1500km
アンソーン
マインフリンゲン
500km

アンソーンから送信されている電波は、
この範囲でも受信できます。

参考

- 電波の受信範囲内でも地形、天候、時期(季節)、時刻、無線ノイズの影響により受信できないことがあります。
  内側の円の範囲を越えると電波が弱くなりますので、それらの影響はより大きくなります。
  ホノルルおよびアンカレジの地域(タイムゾーン)は電波の受信範囲外ですが、条件が良いときは受信できます。
- この時計を使用する国と、電波を送信している国で、サマータイム制度の有無や実施期間などが異なる場合は、正しい時刻が表示されないことがあります。

  サマータイムの設定…P.59
- 中国は2013年6月の時点でサマータイム制度を導入していません。今後、この制度を導入した場合は、正しい時刻が表示されないことがあります。

受信場所

- 金属を避けて、時計の12時位置を窓に向けて置いてください。電波を受信させている間は、なるべく時計を動かしたり、操作をしたりしないでください。通常、夜間の方が電波を受信しやすくなります。

12時位置

- 以下の場所では、電波を受信しにくくなります。
  - ビルの中およびその周辺
  - 乗り物の中
  - 家庭電化製品、OA機器、携帯電話などの近く
  - 工事現場、飛行場など電波障害が起きる場所
  - 高圧線の近く
  - 山間部、山の裏側

電波を受信するには

受信方法には、決まった時刻に時計が自動的に受信する自動受信と、ボタン操作で受信する手動受信があります。
受信には2〜10分かかりますが、状況によっては最大で20分かかる場合もあります。

◆自動的に電波を受信する

❶ 時計を受信しやすい場所に置いてください。

午前12時から午前5時の間に、1日最大6回（中国は1日最大5回）自動で受信します。ただし1日1回受信に成功すれば、その日は自動受信をしません。

❷ 受信が成功すると自動的に時刻を修正し、正確な時刻を表示します。

受信に失敗した場合は、時刻を修正しません。

参考

- 以下の場合は受信しません。
  - ストップウオッチモードのとき
  - 時刻モードやワールドタイムモードでストップウオッチ計測中
  - 自動受信の設定をOFFにしているとき
  - りゅうずを引いているとき
  - 充電不足のとき
  - 節電状態（機能スリープ）

◆手動で電波を受信する

❶ 時刻モードに切り替えます。

時刻モード…P.52

- ワールドタイムモードでも操作できます。
- 時刻モードではホーム都市、ワールドタイムモードではワールドタイム都市の設定に沿って電波を受信します。

受信機能に対応している都市…P.35

都市の設定…P.56

サマータイムの設定…P.59

❷ Ⓑボタンを2秒以上押し続けます。

1 秒針が「A」(午前)または「P」(午後)を示した後、「R」(READY)に移動します。

A(午前)　P(午後)

電波を受信中

Ⓐ Ⓑ Ⓑ Ⓐ Ⓑ

1

R(READY)

❸ 電波を受信しているときは、[1]秒針が「R」（READY）または「W」（WORK）を示し、現在の受信状況を表示します。

W（WORK）　R（READY）

[1] 秒針の表示と受信状況

R（READY）	受信が不安定です
W（WORK）	受信が安定しています

参考

- 受信しやすい場所でも、安定するまで約30秒かかります。
- 受信中に時刻を確認したい場合は、Ⓐ Ⓑ どちらかのボタンを押して受信を中止してください。

❹ 受信に成功すると自動的に時刻を修正します。

参考

- 受信に失敗した場合は、周辺の受信環境を確認の上、再度受信操作をしてください。

受信場所…P.39

◆受信結果を確認する

重要

- 電波を受信したときのモード（時刻モード、または、ワールドタイムモード）のまま、モードを切り替えないで操作します。

❶ Ⓑボタンを押します。

1 秒針が「A」（午前）または「P」（午後）を示した後、前回の受信結果を約10秒間表示します。

1
Ⓐ
Ⓑ
N（NO）
Y（YES）

1 秒針の表示と受信結果

Y（YES）	受信成功
N（NO）	受信失敗

❷ Ⓑボタンを押す、または何も操作をしないまま約10秒経過すると現在時刻に戻ります。

参考

- 受信が成功していても、その後にモードを切り替えた場合、手動で時刻や日付を変更した場合は、1 秒針が「N」（NO）を示します。

◆自動受信の ON/OFF 設定

自動受信の設定をOFFにして自動受信機能を停止させることができます。

参考

- 電波の受信に対応している都市を設定している場合は、自動受信のON/OFF設定ができます。

受信機能に対応している都市…P.35

❶ 時刻モードに切り替えます。

時刻モード…P.52

❷ Ⓑボタンを押します。

1 秒針が「A」(午前)または「P」(午後)を示した後、前回の受信結果を約10秒間表示します。

❸ 10秒以内(1秒針が受信結果を表示中)にりゅうずを1段引くと、1秒針が現在の設定を示します。

1
Ⓐ
Ⓑ
N(NO)
Y(YES)

❹ りゅうずを回して、設定したい位置に1 秒針を合わせます。

- 自動受信 ON なら「Y」(YES)
- 自動受信 OFF なら「N」(NO)

❺ りゅうずを戻します。

時刻の表示に戻ります。

重要

- りゅうずを引いた状態で2分以上何も操作をしないと、操作が効かなくなります。その場合は、りゅうずをいったん戻し、操作を最初からやり直してください。

受信のご注意

- 電波を受信して時刻を修正する際に、時計内部の演算処理などにより若干(1秒未満)のずれが発生します。
- 以下の状態では、電波を受信することができません。
  - 充電不足のとき
  - 節電状態のとき
- 電波障害により誤った信号を受信したときは、再度電波を受信してください。
- 電波の受信による時刻の修正ができないときは、平均月差±15秒の精度で動きます。

モードの種類と切り替え

各モードの機能とモード切り替え方法は以下の通りです。

各モードでできること

モード	主な機能	参照ページ
時刻	• ホーム都市の現在時刻を表示 • 上窓と秒針でストップウオッチ計測(1/20(0.05秒)単位、12分計、5周回転) • 下窓でワールドタイム都市の現在時刻を表示 • ホーム都市、サマータイム設定 • 電波の自動受信、手動受信 • 自動受信のON/OFF設定 • 時刻、日付の手動合わせ	P.52 P.70 P.52 P.56 P.40 P.45 P.62

モード	主な機能	参照ページ
ワールドタイム	• ワールドタイム都市の現在時刻を表示 • 上窓でホーム都市の現在時刻を表示 • 下窓と秒針でストップウオッチ計測(1/20(0.05秒)単位、12分計、5周回転) • ワールドタイム都市、サマータイム設定 • 電波の自動受信、手動受信 • 自動受信のON/OFF設定 • 時刻、日付の手動合わせ	P.53 P.53 P.70 P.56 P.40 P.45 P.62
ストップウオッチ	• ストップウオッチ計測(1/20(0.05秒)単位、60分計) • 上窓でワールドタイム都市の現在時刻を表示 • 下窓でホーム都市の現在時刻を表示	P.70 P.53 P.53

時刻モードとワールドタイムモードの関係

時刻モードとワールドタイムモード、ホーム都市とワールドタイム都市について説明します。

時刻モード･･･主にホーム都市の現在時刻を表示します。

ワールドタイムモード･･･主にワールドタイム都市の現在時刻を表示します。

ホーム都市･･･通常は現在地の都市を選びます。日本国内では東京が該当します。

ワールドタイム都市･･･通常は外国の都市を選びます。日本国内でご使用の際は、ニューヨーク、ロンドン、パリなどお好みの都市を選んでください。

- 時刻モードでは、ホーム都市の設定で電波を受信します。時刻モードで電波を受信して自動的に時刻を合わせると、連動してワールドタイムモードの時刻表示も変更されます。
- ワールドタイムモードでは、ワールドタイム都市の設定で電波を受信します。ワールドタイムモードで電波を受信して自動的に時刻を合わせると、連動して時刻モードの時刻表示も変更されます。

- 手動で時刻モードの時刻を合わせると、連動してワールドタイムモードの時刻表示も変更されます。
- 手動でワールドタイムモードの時刻を合わせると、連動して時刻モードの時刻表示も変更されます。

自動的に時計を合わせる(電波時計)…P.34
都市の設定と時計の合わせ方…P.56

操作概略

りゅうずを1段引き、りゅうずを回して、モードを切り替えます。モードを切り替えたら、りゅうずを元の位置に戻します。

- りゅうずを1段引いて、Ⓑボタンを2秒以上押し続けると、どの状態からでも時刻モードに戻ることができます。

時刻モード

ストップウオッチ分針（1周12分で最大5周（60分））
ストップウオッチ秒針
分
時
Ⓐボタン
・スタート
・ストップ
曜日
りゅうず
日付
秒
Ⓑボタン
・リセット
ワールドタイム時針
ワールドタイム分針

りゅうずを
1段引きます

Ⓐボタン

- 1回押すとストップウオッチの計測を開始します。

Ⓑボタン

- （秒針がストップウオッチではなく、時刻を刻んでいるときに）1回押すと秒針が「A」（午前）または「P」（午後）を約1秒間示します。前回の電波の受信結果を表示した後（P.43）、秒針は通常の動きに戻ります。

ワールドタイムモード

Ⓐボタン

- 1回押すとストップウオッチの計測を開始します。

Ⓑボタン

- （秒針がストップウオッチではなく、時刻を刻んでいるときに）1回押すと秒針が「A」（午前）または「P」（午後）を約1秒間示します。前回の電波の受信結果を表示した後（P.43）、秒針は通常の動きに戻ります。

ストップウオッチモード

ストップウオッチの操作

- 各モードで同じ操作です。

Ⓐ	→	Ⓐ	→	Ⓐ	→	Ⓐ	→	Ⓑ
スタート		ストップ		再スタート		再ストップ		リセット

参考

- 時刻モードとワールドタイムモードを切り替える場合に、9日付が変わるときは、8モード針が回転します。

針と日付の動き方について…P.22

- 9日付は午前0時になると約1分半から3分かけて少しずつ変わります。

各モードとモード針の関係

時刻モード
（りゅうずを1段引いたとき）

上窓の役割
下窓の役割

ワールドタイム
モード

上窓の役割
下窓の役割

ストップウオッチ
モード

上窓の役割
下窓の役割

- 時刻モードでは、曜日を表示します。りゅうずを1段引くと、モード針は「TM」を示します。また、上窓と下窓の役割も示します（上窓：ストップウオッチ、下窓：ワールドタイム（ワールドタイム都市の時刻））。
- ワールドタイムモードでは、モード針は「WT」を示します。また、上窓と下窓の役割も示します（上窓：時刻（ホーム都市の時刻）、下窓：ストップウオッチ）。
- ストップウオッチモードでは、モード針は「ST」を示します。また、上窓と下窓の役割も示します（上窓：ワールドタイム（ワールドタイム都市の時刻）、下窓：時刻（ホーム都市の時刻））。

都市の設定と時計の合わせ方

この時計は、世界29都市とUTC(協定世界時)の中から、使用する都市を設定すれば、自動的に都市の現在時刻を表示します。

重要

- 時刻モードではホーム都市、ワールドタイムモードではワールドタイム都市に合わせます。
- 「都市の設定と時計の合わせ方」に記載されている項目は、時刻モード、ワールドタイムモードで操作できます。操作説明は時刻モードを前提にして説明します。
  時刻モードをワールドタイムモードに切り替えても、同じ操作手順で都市、サマータイム、時刻、年月日を設定できます。

都市の設定

設定できる都市は、都市コード一覧表にある都市です。

都市コード一覧表にない都市でこの時計を使用するときは、同じタイムゾーンの都市を設定します。タイムゾーンは巻末の「UTC(協定世界時)とタイムゾーン」で確認できます。

UTC(協定世界時)とタイムゾーン…P.106

都市コード一覧表…P.108

重要

- この時計を日本で使用する場合は、都市を東京(TOKYO/TYO)に設定します。

◆都市を変更する

3 2 Ⓐ 30 Ⓑ 8 1 9 りゅうず

1 秒針:都市コード、サマータイム設定を示します。
2 分針
3 時針
8 モード針:「TM」を示します。
9 日付

- 8 モード針は、ワールドタイムモードでは「WT」を示します。

❶ りゅうずを2段引きます。

- 都市を変更できる状態になります。
- 1 秒針が現在選択している都市コードを示します。

❷ りゅうずを回し、1 秒針を設定したい都市コードの位置に合わせます。

都市を変更すると、3 時針、2 分針、8 モード針および 9 日付が動き、選択した都市の時刻を表示します。

❸ りゅうずを戻します。

時刻の表示に戻ります。曜日と日付も選択した都市に合わせて表示されます。

重要

- りゅうずを引いた状態で2分以上何も操作をしないと、操作が効かなくなります。その場合は、りゅうずをいったん戻し、操作を最初からやり直してください。

サマータイムの設定

この時計は、都市ごとにサマータイムを設定できます。
各都市のサマータイムの設定は、「AT」(AUTO)が初期状態です。
サマータイムの設定が「AT」(AUTO)であれば、自動でサマータイムへ切り替わるので、設定を変更する必要はありません。
ただし、次の場合は「AT」(AUTO)から「STD」または「DST」に設定を変更してご使用ください。

- 都市コード一覧にない都市で使用する場合
- サマータイムの実施期間が異なる場合

参考

- サマータイムとは、DST(Daylight Saving Time)とも言い、通常の時刻(STD:スタンダードタイム)から1時間進める夏時間制度のことです。
  サマータイムの実施期間や実施地域は、国によって異なります。また、サマータイム制度を採用していない国や地域もあります。

都市コード一覧表…P.108

サマータイムの設定とそれぞれの設定内容

AT(AUTO) (STD/DST自動切り替え)	スタンダードタイムとサマータイムがカレンダーによって自動で切り替わります。
STD (STD固定)	常にスタンダードタイムを表示します。
DST (DST固定)	常にサマータイムを表示します。

◆サマータイムの設定を切り替える

❶ りゅうずを2段引きます。

1 秒針が現在選択している都市コードを示します。

❷ Ⓐボタンを押します。

- 1 秒針が現在のサマータイムの設定を示します。
- 2秒経過すると、1 秒針は都市コードの位置に戻ります。2秒の間にすばやく手順3を操作してください。

❸ Ⓐボタンを1秒間押し続けます。

Ⓐボタンを1秒間押し続けるごとに、サマータイムの設定が、次の順番に切り替わります。

❹ りゅうずを戻します。

時刻の表示に戻ります。

重要

- りゅうずを引いた状態で2分以上何も操作をしないと、操作が効かなくなります。その場合は、りゅうずをいったん戻し、操作を最初からやり直してください。

時刻と日付の調節

電波を受信できない地域で使用するときは、時刻と日付を手動で合わせます。

重要

- 電波を受信できる地域で使用しているときは、電波の受信による時刻と日付の修正をおすすめします。

りゅうずを2段引いて、Ⓑボタンを押すごとに、設定できる箇所が以下の順に移動します。

都市設定 →Ⓑ（約1秒間）→ 分 →Ⓑ→ 時 →Ⓑ→ 年 →Ⓑ→ 月 →Ⓑ→ 日 →Ⓑ→ 分

設定したら、時報に合わせてりゅうずを戻してください。時刻の表示に戻ります（秒針は0から動き始めます）。

◆時刻と日付の合わせ方

3 2 Ⓐ 30 Ⓑ 8 1 9 りゅうず

図は時刻モードの例です。

1 秒針
2 分針
3 時針
8 モード針：「TM」を示します。
9 日付

- 8 モード針は、ワールドタイムモードでは「WT」を示します。

❶ りゅうずを2段引きます。

1 秒針が現在選択している都市コードを示します。

❷ 都市とサマータイムを設定します。

都市の設定…P.56

サマータイムの設定…P.59

❸ Ⓑボタンを約1秒間押し続けます。

1 秒針が「A」(午前)または「P」(午後)に移動して止まります。
時刻の手動合わせができる状態です。

❹ りゅうずを回し、「分」を合わせます。

針は早送り/早戻しで合わせることができます。

りゅうずの操作…P.20

❺ Ⓑボタンを押します。

3 時針が小さく動いて、「時」を設定できる状態になったことを示します。

❻ りゅうずを回し、「時」を合わせます。

- ［1］秒針が「A」（午前）または「P」（午後）を示します。
- 針は早送り/早戻しで合わせることができます。

❼ Ⓑボタンを押します。

［1］秒針が「月」の位置に移動した後、［2］分針と［3］時針が「年」の位置に移動します。

- ［1］秒針：「月」の設定は、手順10で操作します。
- ［2］分針：西暦の1の位を表示します。
- ［3］時針：西暦の10の位を表示します。

❽ りゅうずを回し､｢年｣を設定します。

0
1
2
Ⓐ
2
9
3
Ⓑ
8
4
7
5
6

〈西暦の1の位〉

00
10
3
20
Ⓐ
90
30
Ⓑ
80
40
70
50
60

〈西暦の10の位〉

⑨ Ⓑボタンを押します。

[1]秒針が1周して「月」の位置に移動します。

⑩ りゅうずを回し、「月」を設定します。

12月
11月
1月
10月
2月
Ⓐ
9月
3月
Ⓑ
8月
4月
7月
5月
6月

⑪ Ⓑボタンを押します。

[8]モード針が小さく動きます。「日」を設定できる状態になったことを示します。

⑫ りゅうずを回して、「日」を設定します。

りゅうずを回すと[8]モード針も一緒に回転します。

⑬ 時報に合わせて、りゅうずを戻します。

時刻の表示に戻ります。

参考

- 日付の設定は、月ごとの日数の違いや、うるう年にも対応しています（フルオートカレンダー）。

重要

- りゅうずを引いた状態で約30分間何も操作をしないと、操作が効かなくなります。その場合は、りゅうずをいったん戻し、操作を最初からやり直してください。

ストップウオッチ

この時計はストップウオッチとして使用できます。

- ストップウオッチモード、時刻モード、ワールドタイムモードで計測できます。
- 計測は1/20(0.05)秒単位です。
- 59分59秒95まで計測できます(60分計)。
- 計測範囲を超えた場合は、計測を停止します。
- 時刻モードとワールドタイムモードでは、計測時間の表示は11分59秒95までです。
  11分59秒95を超えたら、計測時間はストップウオッチモードで確認してください。

針の見方

ストップウオッチモード

例）計測時間が「20分45秒10」の場合

8　1:0.10秒
A
30　りゅうず
B
2:45秒　3:20分

1 秒針：計測時間を1/20（0.05）秒単位で表示します。
- 文字板に0.05秒単位の目盛りが印刷されています。

2 分針：計測時間を1秒単位で表示します。

3 時針：計測時間を1分単位で表示します（0〜60分）。

8 モード針：「ST」を表示します。

時刻モード

例）計測時間が「3分45秒10」の場合

4:45秒　5:3分

りゅうず

8　1:0.10秒

1 秒針：計測時間を1/20（0.05）秒単位で表示します。

4 上窓の長針：計測時間を1秒単位で表示します。

5 上窓の短針：計測時間を1分単位で表示します（1周12分で最大5周（60分））。

8 モード針：計測している間は「曜日」を表示します。

ワールドタイムモード

例）計測時間が「3分45秒10」の場合

8

1:0.10秒

Ⓐ

りゅうず

Ⓑ

6:45秒　7:3分

1 秒針：計測時間を1/20（0.05）秒単位で表示します。

6 下窓の長針：計測時間を1秒単位で表示します。

7 下窓の短針：計測時間を1分単位で表示します（1周12分で最大5周（60分））。

8 モード針：計測している間は「WT」を表示します。

計測する

❶ **52ページから53ページの「操作概略」に従って、ストップウオッチモードに切り替えます。**

- 時刻モードやワールドタイムモードに切り替えても操作できます。

❷ **計測するときのボタン操作は、以下の通りです。**

- 通常計測

Ⓐ →	Ⓐ →	Ⓐ →	Ⓐ →	Ⓑ
スタート	ストップ	（再スタート）	（ストップ）	リセット

- 時刻モードやワールドタイムモードでも同じボタン操作です。

参考

- ストップウオッチモードでは、①秒針（1/20（0.05）秒針）は計測開始から30秒間動きます。30秒経過後は12時位置で止まり、計測を停止すると計測時間の位置まで針が動きます。
- 時刻モードとワールドタイムモードでは、①秒針（1/20（0.05）秒針）は計測開始から約20秒後に通常の秒単位の動きに戻ります。

針や日付のずれ補正

強い磁気や衝撃を受けると、針や日付の表示がずれることがあります。この状態では電波を受信しても正確な時刻が表示できなくなります。

1秒針、2分針、3時針のずれは自動的に補正します。

時計の針や日付の表示を確認して、4上窓の長針、5上窓の短針、6下窓の長針、7下窓の短針、8モード針および、9日付の表示が正確な位置からずれているときは、手動でずれを補正してください。

重要

- 時刻モードまたはワールドタイムモードのどちらかのモードで針や日付のずれを補正すると、すべてのモードでずれが補正されます。
- ストップウオッチモードでは、針や日付のずれを補正できません。

補正の手順

詳しくは、78ページから83ページの操作手順をご覧ください。

りゅうずの2段引き
→ Ⓑ（1 秒針が12時位置に移動するまで（6秒以上））

自動補正
- 1 秒針
- 2 分針
- 3 時針

→ Ⓑ

手動補正
- 4 上窓の長針
- 5 上窓の短針

↓ Ⓑ

- 6 下窓の長針
- 7 下窓の短針

↓ Ⓑ

- 8 モード針
- 9 日付

↓ Ⓑ※

- 8 モード針※
- 9 日付※

※ 上枠内の操作で8 モード針と9 日付の位置合わせができないときだけ操作してください。

- 補正が完了した後、りゅうずを戻してください。
  補正の途中でりゅうずを戻すと、それまでに補正してある針は、補正された状態で操作を開始する前のモードに戻ります。

針や日付のずれを補正する

✓ 重要

- 正しい時刻を表示しているときは、この操作は必要ありません。

❶ りゅうずを2段引きます。

❷ Ⓑボタンを①秒針が12時位置に移動するまで(6秒以上)押し続けます。

- Ⓑボタンを押し始めてから1秒後に①秒針が「A」(午前)または「P」(午後)の位置まで移動し、6秒後に①秒針が12時位置に移動し終わるまでⒷボタンを押し続けてください。
- ①秒針が12時位置に移動し終わったら、Ⓑボタンを離します。すると、①秒針、②分針、③時針の補正を、自動的に開始します。
- ①秒針、②分針、③時針が12時位置に移動して、補正が完了します。

❸ Ⓑボタンを押します。

- 1秒針、2分針、3時針が2時の位置を示します。
- 4上窓の長針と5上窓の短針が12時位置からずれて停止した場合は、りゅうずを回して12時位置に合わせます。
- 針は早送り/早戻しで合わせることができます。

❹ Ⓑボタンを押します。

- 6 下窓の長針と 7 下窓の短針が12時位置からずれて停止した場合は、りゅうずを回して12時位置に合わせます。
- 針は早送り/早戻しで合わせることができます。

5 Ⓑボタンを押します。

- 8 モード針が12時位置で停止し、9 日付を正しく表示するまで待ちます。
- 8 モード針や 9 日付の停止位置がずれているときは、りゅうずを回して 8 モード針を12時位置、9 日付を日付窓の中央部に合わせてください。
- 針と日付は早送り/早戻しで合わせることができます。

Ⓐ
30
Ⓑ
8
9 補正開始時の日付が表示されます。

- りゅうずを回しても、8 モード針と 9 日付を動かせる範囲には限りがあります。8 モード針は最大で左右にそれぞれ180度回転します。9 日付の動きはわずかです。

針と日付の動き方について…P.22

- 8 モード針と 9 日付の位置合わせができたときは手順7に進んでください。位置合わせができないときは手順6に進んでください。

❻ Ⓑボタンを押します。

- 8 モード針が12時位置で停止、9 日付が1で停止するまで待ちます。
- 9 日付が1で停止するまでに、8 モード針は30分くらい回転を続けることがあります。

針と日付の動き方について…P.22

- 8 モード針や 9 日付の停止位置がずれているときは、りゅうずを回して 8 モード針を12時位置、9 日付を1が中央になるように合わせてください。
- 針と日付は早送り/早戻しで合わせることができます。

❼ りゅうずを戻します。

元のモードに戻り、時刻を表示します。

✔ 重要

- りゅうずを引いた状態で約30分間何も操作をしないと、操作が効かなくなります。その場合は、りゅうずをいったん戻し、操作を最初からやり直してください。
  りゅうずを戻すと、それまでに補正してある針は、補正された状態で操作を開始する前のモードに戻ります。

針の動きと表示

状況	原因と対処
現在の表示モードがわからない	りゅうずを1段引き、Ⓑボタンを2秒以上押し続けて、時刻モードに戻ってください。 時刻モードに戻ったら、りゅうずは元の位置に戻してください。 操作概略…P.52
秒針が2秒ごとに動いている	充電量が不足しています。充電量が回復するまで光を当ててください。 充電するには…P.28
すべての針が12時位置で停止し、ボタン操作ができない	充電切れです。充電量が回復するまで光を当ててください。 充電にかかる時間…P.31

状況	原因と対処
突然、針の動きが速くなった	以下が原因の場合は故障ではありません。通常の動きに戻るまでお待ちください。 • パワーセービング機能を解除し、復帰している。 節電(パワーセービング機能)…P.32 • 電波の自動受信により、時刻修正をしている。 電波を受信するには…P.40
針の動きが止まり、ボタン操作ができなくなった	充電回復モードの状態です。回復するまで(約15分)お待ちください。明るい場所に置いて充電すると早く回復します。 **参考** • 電波受信を短時間に連続使用すると充電が急激に減少するため、一時的に針の動きを停止して充電回復モードに切り替わります。充電回復モードのときは、すべての機能が使用できなくなりますが、回復すると通常の状態に戻ります。

状況	原因と対処
現在時刻の表示が数時間ずれている	都市の設定が正しくありません。 都市の設定を確認してください。 都市の設定…P.56
現在時刻の表示が1時間ずれている	サマータイム設定の「STD（スタンダードタイム）」と「DST（サマータイム）」が正しくありません。 サマータイムの設定…P.59
	サマータイム設定の「STD（スタンダードタイム）」または「DST（サマータイム）」が手動設定になっています。 サマータイムの設定…P.59
時刻と日付の表示位置がずれている	強い磁気や衝撃の影響で針の位置にずれが生じることがあります。ずれを補正してください。 針や日付のずれ補正…P.76
時刻は合っているが、日付が中央に表示されていない	日付を更新中です。 日付の更新については、以下をご確認ください。 針と日付の動き方について…P.22

りゅうずの操作

状況	原因と対処
りゅうずを回しても、何も操作ができない	りゅうずを引いたまま2分以上(針や日付のずれ補正の場合は約30分間)何も操作をしないと、操作が効かなくなります。 りゅうずをいったん戻した後、再度引いてください。 りゅうずの操作…P.20

充電

状況	原因と対処
光に当てても操作できない	充電切れになると操作ができなくなります。充電が回復するまで光を当ててください。 充電にかかる時間…P.31

電波受信

この項目は、以下の都市を設定している場合に該当します。
TOKYO(TYO), HONG KONG(HKG), NEW YORK (NYC), CHICAGO(CHI), DENVER(DEN), LOS ANGELES(LAX), ANCHORAGE(ANC), HONOLULU (HNL), LONDON(LON), PARIS(PAR), ATHENS (ATH)

状況	原因と対処
電波の受信が成功しない （受信結果が「N（NO）」になる）	電波の受信中に時計を動かしたり、ボタンを操作した。 電波を受信させるときは、受信の場所に注意して、時計が受信をしやすい環境に置いてください。 受信場所…P.39
	電波障害による受信の失敗。 周辺の環境を確認し、電波障害のない所で受信してください。 電波の受信範囲と条件…P.36
電波の受信が成功しない （受信結果が「N（NO）」になる）	送信所から電波が送信されていない可能性があります。 独立行政法人情報通信研究機構（NICT）日本標準時グループのホームページ等をご確認ください。 電波の受信範囲と条件…P.36

状況	原因と対処
電波が受信できない	都市の設定が正しくない可能性があります。 都市の設定を確認してください。 都市の設定…P.56
	ストップウオッチ計測中は、受信できません。 計測を止めてください。
	ストップウオッチモードでは受信できません。 時刻モードに切り替えてください。ワールドタイムモードで受信したいときは、ワールドタイムモードに切り替えてください。
	自動受信の設定がOFFになっています。 設定をONにしてください。 自動受信のON/OFF設定…P.45
	りゅうずを引いた状態になっています。 りゅうずの位置を戻してください。
	充電量が不足しています。 充電量が回復するまで光を当ててください。 充電不足や充電切れ…P.30

製品仕様

項目	内容
精度	電波受信による時刻修正ができない場合は、平均月差±15秒
基本機能	時・分・秒、午前／午後表示、日付（2000〜2099年までのフルオートカレンダー）
電波時計機能	自動受信・手動受信 受信結果確認機能 スタンダードタイム／サマータイムの自動／手動切り替え 受信局自動選択機能（JJY、MSF/DCF77で対応） 受信電波　コールサイン：JJY（40kHz/60kHz）、BPC（68.5kHz）、WWVB（60kHz）、MSF（60kHz）、DCF77（77.5kHz）
ワールドタイム機能	世界29都市と協定世界時（UTC）の時刻を表示、サマータイム自動設定機能
ストップウオッチ機能	計測単位　1/20（0.05）秒 計測範囲　59分59秒95（60分計） 計測機能　経過時間

その他：針位置自動補正機能、
パワーセービング機能、
バッテリー充電警告機能

使用電池：二次電池

持続時間：約5ヵ月
（光に当てないで、1日あたり、電波受信1回（約4分）使用した場合）

ご使用上の注意

■防水性

● 防水時計は時計の表面または裏ぶたに「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されているもので、次のように分類されます。

		日常生活用防水	日常生活用強化防水		
			5気圧防水	10気圧防水	20気圧防水
表示	時計の表面または裏ぶたに表記	「BAR」表記無し	5BAR	10BAR	20BAR
使用例	洗顔、雨	○	○	○	○
	水仕事、水泳	×	○	○	○
	ウインドサーフィン	×	×	○	○
	スキンダイビング(素潜り)	×	×	○	○

- 専門的な潜水=スキューバダイビング(空気ボンベ使用)でのご使用はお避けください。

● 時計の表面または裏ぶたに「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されていないものは防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。

● 防水構造の機種でも、以下のご使用はお避けください。
防水性能の低下や、ガラスの内側が曇る原因になります。
- 「水中で」および「時計に水分がついた状態で」りゅうずやボタンを操作すること
- 入浴のときに使用すること
- 温水プールやサウナなどの高温多湿な環境で使用すること
- 時計を手につけたまま手洗い/洗顔/家事などをするときに、石鹸や洗剤を使うこと

● 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れを拭き取ってください。
● 防水性を保つために定期的(2〜3年を目安)なパッキン交換をおすすめします。
● 電池交換の際、防水検査を行いますので、必ずお買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にお申し付けください(特殊な工具を必要とします)。
● 防水時計の一部にデザイン上、皮革バンドを使用しているモデルがありますが、皮革バンド付の状態で、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。
● 時計が急冷された場合など、ガラスの内側が曇ることがありますが、すぐに曇りが無くなるようであれば特に問題はありません。夏季に高温の室外から室内に入りエアコンの吹き出し口付近で冷気にさらされたり、冬季に暖かい室内から出て屋外の冷気や雪に触れた場合など、外気と時計内部の温度差が大きくなることによって曇る時間が長くなることがあります。
なお、曇りが消えなかったり、時計内部に水が残っている場合は、ただちにご使用をやめて、修理をお買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にお申し付けください。

■バンド

● バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
● バンドは、劣化やさびなどにより、切れたり外れたりすること、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。これらは、時計の落下や紛失、けがの原因となります。バンドは常にお手入れをして清潔な状態でご使用ください。

● バンドに弾力性がなくなる、ひび割れ、変色、緩み、接合部のピンの飛び出しや抜け落ちなどの異常がある場合は、ご使用をやめてください。点検・修理（有償）や新しいバンドとの交換を、お買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にお申し付けください。

■温度

● 自動車のダッシュボードや暖房器具の近く等の高温になる場所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったり、故障の原因となります。

■ショック

● 通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると、故障の原因になります。
ただし、耐衝撃構造の時計の場合（G-SHOCK/Baby-G/G-ms）は腕につけたままでチェーンソーなどの強い振動や、激しいスポーツ（モトクロスなど）でのショックを受けても時計には影響ありません。

■磁気

● アナログ時計やコンビネーション（アナログとデジタル）時計は、針を動かすために磁石の性質を利用したモーターを駆動させる方式を採用していますが、このモーターは強い磁気（オーディオ機器のスピーカー、磁気ネックレス、携帯電話など）を発生する器具に近づけるとモーターの回転に影響を受け、針の「遅れ・進み・止まり・誤った時刻表示」などの原因となります。

■静電気

●静電気により誤った時刻を表示したりします。また、極度に強い静電気は、電子部品を破損する恐れがあります。

■薬品類

●シンナー、ガソリン、各種溶剤、油脂またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類等が付着すると、樹脂ケース、樹脂バンド、皮革などに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■保管

●長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などを拭き取り、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■樹脂部品について

●長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が樹脂部品に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取り、他の製品に密着させたままにしないでください。

●長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま放置すると色あせする場合があります。

●塗装部品は、使用状況（過度の外力、連続したこすれ、衝撃等）により磨耗し色落ちしたりすることがあります。

●バンドにプリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。

●蛍光商品は、長時間濡れたままにしておくと色が落ちる恐れがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取って、乾かしてください。

● スケルトン（透明）仕様の部品は、汗や汚れ等の吸収や高温多湿への放置により変色を起こすことがあります。

● ご使用状態や保管環境により異なりますが、日々のご使用や長期保管によって劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

■皮革バンドについて

● 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が皮革バンドに移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに柔らかい布などで軽く拭いて、他の製品に密着させたままにしないでください。

● 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま長時間放置すると色あせする場合があります。
ご注意：皮革バンドは、摩擦・汚れにより色を移したり、色落ちすることがあります。

■金属部品について

● 金属は、ステンレスやメッキ品でも汚れたままご使用になりますと、さびが発生することがあります。汗をかいたときや水に濡らしたときは、柔らかい吸湿性の良い布などでよく拭き取った後に、通気性の良い場所に保管し、よく乾燥させてください。

● ときどき、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹸水がかからないようにしてください。

■抗菌防臭バンドについて

● 抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、においの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果を上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性の良い柔らかい布で拭き取り、常に清潔にしてご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

お手入れについて

■お手入れのしかた

時計も衣類同様、直接身につけるものです。長くお使いいただくために、汚れ・汗・水分などは柔らかい布などでこまめに拭き取り、常に清潔な状態でご使用ください。

- 海水や泥がついた場合は、真水でよく洗い流してください。
- 金属バンドおよび樹脂バンドの金属部品は、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹸水がかからないようにしてください。
- 樹脂バンドは、水で洗い、柔らかい布などで水分を拭き取ってください。また、樹脂バンドの表面にシミのような模様が発生することがありますが、人体および衣類への影響はありません。布などで拭き取ってください。
- 皮革バンドは、水や汗がついた場合には、柔らかい布などで軽く拭いてください。
- りゅうずやボタンや回転ベゼルは、長期間操作しないと動きが悪くなる場合があります。ときどき、りゅうずや回転ベゼルを回したり、ボタンを押したりしてください。

■お手入れを怠ると

〈さび〉

● 時計で使用している金属はさびにくい性質ですが、汚れによりさびが発生します。
  - 汚れにより酸素が絶たれると、表面の酸化皮膜が維持できなくなり、さびが発生します。

● さびが発生すると、金属部分に鋭利な箇所ができたり、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。異常に気がついた場合は、ご使用をやめて、修理(有償)をお買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にお申し付けください。

● 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやさびがしみ出して、衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、時計の性能が劣化することがあります。

〈劣化〉

● 樹脂バンドや樹脂ベゼルは、汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に放置すると経年劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

〈かぶれ〉

● 皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。特に、皮革バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをしてください。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

本製品で使用している電池について

● 専用の二次電池を使用しておりますので、お客様は電池を取り外さないでください。専用の二次電池以外の電池を入れると時計の破損の原因になります。

● 二次電池は、ソーラーパネルが受ける光により充電されますので、定期的な電池交換の必要はありません。ただし、長年の充電と放電を繰り返すことにより性能が劣化して、充電しても使用時間が短くなることがあります。その場合は、お買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」にご相談ください。

金属バンドの駒詰めについて

金属バンド（フリータイプの中留構造バンド※を除く）の駒詰めには専用の工具が必要となります。
お取り扱いによる、部品の変形や破損、またはけが等を予防するためにも、お買い上げの販売店にご相談ください。
なお、「持込修理サービス受付窓口」においても保証期間内は無償、保証期間経過後は有償にて承っております。
詳しくは、「持込修理サービス受付窓口」または「修理に関するお問い合わせ窓口」へお問い合わせください。

※ 中留をスライドさせて長さ調整するフリータイプのバンドでは、駒の取り外しはできません。

（例）

UTC(協定世界時)とタイムゾーン

地図から目的地のタイムゾーンをご確認ください。

LON PAR ATH THR KBL DEL TYO JED DXB KHI DAC HKG RGN BKK RAI ADL

JST(日本標準時)との時差												
-11	-10	-9	-8	-7	-6	-5	-4	-3	-2	-1	0	1
UTC(協定世界時)との時差												
-2	-1	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

都市コード一覧表

コード		タイムゾーン	都市名
UTC		0	協定世界時
LONDON	LON	0	ロンドン
PARIS	PAR	+1	パリ
ATHENS	ATH	+2	アテネ
JEDDAH	JED	+3	ジェッダ
TEHRAN	THR	+3.5	テヘラン
DUBAI	DXB	+4	ドバイ
KABUL	KBL	+4.5	カブール
KARACHI	KHI	+5	カラチ
DELHI	DEL	+5.5	デリー
DHAKA	DAC	+6	ダッカ
YANGON	RGN	+6.5	ヤンゴン
BANGKOK	BKK	+7	バンコク
HONG KONG	HKG	+8	香港
TOKYO	TYO	+9	東京
ADELAIDE	ADL	+9.5	アデレード
SYDNEY	SYD	+10	シドニー
NOUMEA	NOU	+11	ヌーメア
WELLINGTON	WLG	+12	ウェリントン
PAGO PAGO	PPG	−11	パゴパゴ
HONOLULU	HNL	−10	ホノルル

サマータイム期間	
サマータイム開始	サマータイム終了
なし	なし
3月最終日曜1時	10月最終日曜2時
3月最終日曜2時	10月最終日曜3時
3月最終日曜3時	10月最終日曜4時
なし	なし
3月22日0時または3月21日0時	9月22日0時または9月21日0時
なし	なし
なし	なし
なし	なし
なし	なし
なし	なし
なし	なし
なし	なし
なし	なし
なし	なし
10月第1日曜2時	4月第1日曜3時
10月第1日曜2時	4月第1日曜3時
なし	なし
9月最終日曜2時	4月第1日曜3時
なし	なし
なし	なし

コード		タイムゾーン	都市名
ANCHORAGE	ANC	−9	アンカレジ
LOS ANGELES	LAX	−8	ロサンゼルス
DENVER	DEN	−7	デンバー
CHICAGO	CHI	−6	シカゴ
NEW YORK	NYC	−5	ニューヨーク
SANTIAGO	SCL	−4	サンティアゴ
RIO DE JANEIRO	RIO	−3	リオデジャネイロ
F. DE NORONHA	FEN	−2	フェルナンド・デ・ノローニャ
PRAIA	RAI	−1	プライア

参考

- この表は2013年6月現在作成のものです。
- 設定する都市コードがわからないときは、使用場所のタイムゾーンを確認し、タイムゾーンが一致する都市コードを選択してください。
- この表のタイムゾーンは、協定世界時(UTC)を基準としたものです。

サマータイム期間	
サマータイム開始	サマータイム終了
3月第2日曜2時	11月第1日曜2時
3月第2日曜2時	11月第1日曜2時
3月第2日曜2時	11月第1日曜2時
3月第2日曜2時	11月第1日曜2時
3月第2日曜2時	11月第1日曜2時
10月第2土曜24時	3月第2土曜24時
10月第3日曜0時	2月第3日曜0時または 2月第4日曜0時
なし	なし
なし	なし

- この表のサマータイム期間は、その都市で採用しているサマータイム期間です。一覧に無い都市で使用するときは、一覧にある同じタイムゾーンの都市を設定し、サマータイムの設定をしてください。

サマータイムの設定…P.59